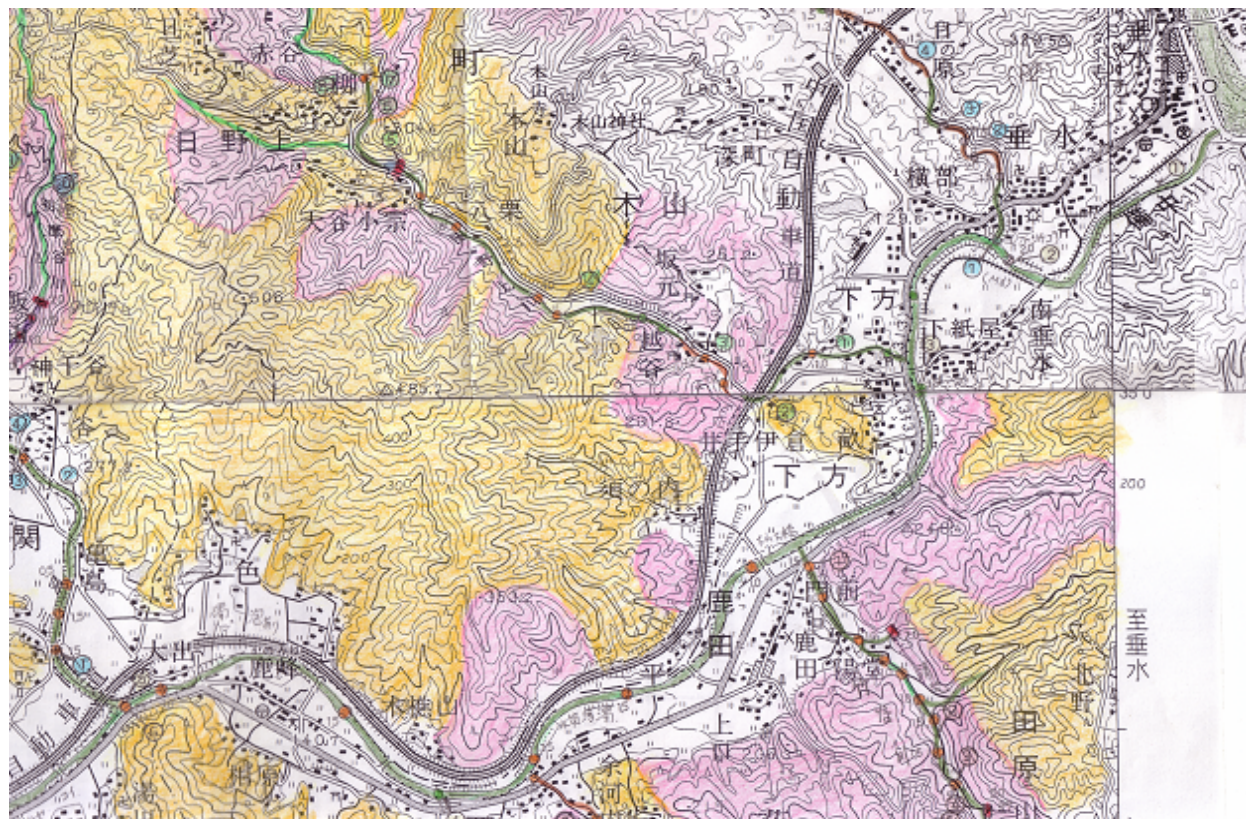


1. 備中川下流域（垂水～大出）

落合町垂水から西の大出までの延長 7.5 km 区間である。

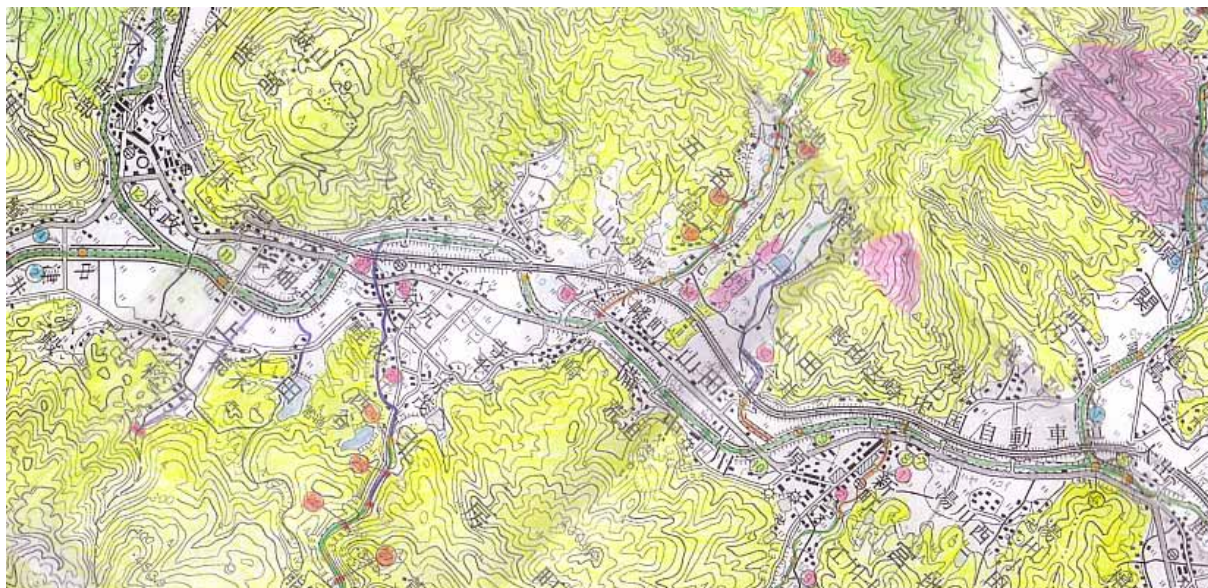


備中川	河道状況 (%) (延長 7,500m)				障害物 (ヶ所)		地質	流域の植生・災害他	
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		魚の生息環境	山椒魚の生息
	0	100 7,500m	0	0	0	0	片岩類		
下流	水質・川の浄化能力等		水中生物		コメント				
	水草茂るが淀みが多く、濁水・泡が目付き水質悪い		ハヤ・鯉・亀など		上・中流域に比べて水質劣り、濁り・泡が見られる			C	

- ・ 河川勾配が緩く、頭首工により水がよどみ、濁りや排水の泡があり、水質は悪い。
- ・ 水草は茂り、サギ、亀、鯉、ハヤなどが生息する。

2. 備中川中流域（大出～皆部）

落合町境の大出から北房町皆部までの6km区間である。



備中川	河道状況 (%) (延長 6,000m)				障害物 (ヶ所)		地質	流域の植生・災害他	
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		魚の生息環境	山椒魚の生息
中	0	100 6,000	0	0	0	0	片岩類 石灰岩		
中	水質・川の浄化能力等		水中生物		コメント		魚の生息環境	山椒魚の生息	
流	支川は三面張り多、本川は水草茂り水質良		ホタル・アユ・ハヤ・鯉・シギ・ヨシキリ、藻生育		魚の移動容易、清流で藻が生えアユが泳ぐ		B		

- ・ 水草が茂り、頭首工は少なくせせらぎとして水が流れる。
- ・ ヨシキリ、シギ、鮎生息。
- ・ 支川からの流入水量はごく少ない。

3. 備中川上流域（皆部以北）

皆部から源流域までの9km区間である。



備 中 川 上 流	河 道 状 況（％） （延長 9,000m）				障 害 物 （ヶ 所）		地 質	流 域 の 植 生 ・ 災 害 他	
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		魚の生息環境	山椒魚の生息
	54 4,850m	44 4,000m	0	0	1	0	片岩、石灰岩 石英斑岩		
	水質・川の浄化能力等		水 中 生 物		コ メ ン ト				
	自然および水草の茂る川で清水が流れ、浄化能力も高い		ハヤ・ホタル・亀など生息		北房ダムで移動は断たれる。自然環境・水質とも良好な川で、土砂流出少ない			B	

- ・ 長政～双内間は水草が茂り頭首工はごく少なく、魚の移動は楽である。
- ・ 蛭の里であり、河川勾配はゆるく河川環境はよい。
- ・ 双内から上流は急峻な山間を流れる自然渓流で、片岩類、石英斑岩の露岩渓谷である。
- ・ 北房ダム（h = 35m）で流れを断たれる。
- ・ 集水域は自然林および混交林である。
- ・ 農地は整備され、三面張り水路となっている。

4. 弥谷川

備中川最上流域の支川で、延長3 kmである。



弥谷川	河道状況 (%) (延長 3,000m)				障害物 (ヶ所)		地質	流域の植生・災害他	
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		魚の生息環境	山椒魚の生息
	100 3000m	0	0	0	2	0	片岩類	混交林 植林	
	水質・川の浄化能力等		水中生物		コメント			魚の生息環境	山椒魚の生息
	混交林と自然溪流で水質良好		転石・岩盤溪流でハヤ・山女がいろいろ		ダムで上下2分される、川は自然豊か			B	

- ・ 全て自然河道で、転石・礫と岩盤（片岩）が分布する。
- ・ 頭首工は石積緩勾配で魚に優しい。
- ・ 中流に2基のダムがあり魚の移動は不可能である。
- ・ 急峻な溪流で転石が多く、滝もある。
- ・ 山は混交林主体。

5. 西河内川

備中川の支川で落合町垂水へ注ぐ、延長 6,5 km の川である。

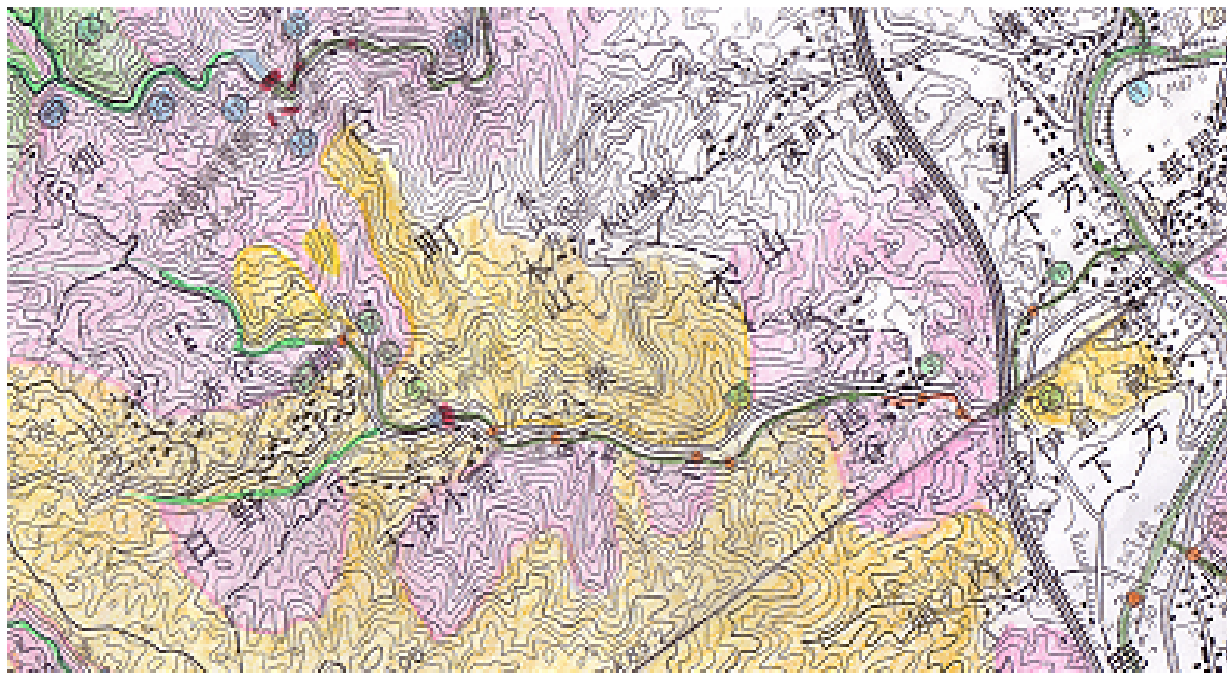


西河内川	河道状況 (%) (延長 6,500m)				障害物 (ヶ所)		地質	流域の植生・災害他	
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		魚の生息環境	山椒魚の生息
	35 2,300m	48 3,100m	17 1,100m	0	4	3	片岩類	間伐林と混交林。 植林で風倒木多	
	水質・川の浄化能力等		水中生物		コメント		魚の生息環境	山椒魚の生息	
	上流は清水、中流は水草が茂り水質良好、下流も水質良		ハヤ・トンボ・蝶などが多数生息、鯉生息		ダムで魚の移動は断たれる。土砂の流出は少なく、水質浄化能力大、比較的良環境の川である		B	×	

- ・ 頭首工は多いが、魚の遡上は可能な施設が多い。
- ・ 一部に護岸があるが水草やヨシが生え、河床にフトン籠を敷設してヨシを生やしている。
- ・ 川の中・上流域は自然川道となり清水が流れている。
- ・ 川にはハヤが多数見られる。
- ・ 西河内川砂防ダムで魚の移動は断ち切られている。
- ・ 砂防ダムの上流域は服部興業(株)の山林である。良好に手入れされた間伐林で、下草・灌木もしっかり生育している。
- ・ 間伐林の沢は清水であり、中流河川もヨシ・水草により清められ、魚の多く棲む水系である。
- ・ 砂防ダムと頭首工を改良すれば、自然環境・水質ともかなりよい。魚の生息環境はB級の川である。
- ・ 中・下流域でも水流に瀬・瀬がある。水質浄化水草があればさらによいであろう。
- ・ 最上流域に放牧場があり、多少尿が流入するとのことである。

6. 日野上川

落合町下方で備中川へ注ぐ、延長4,5 kmの河川である。

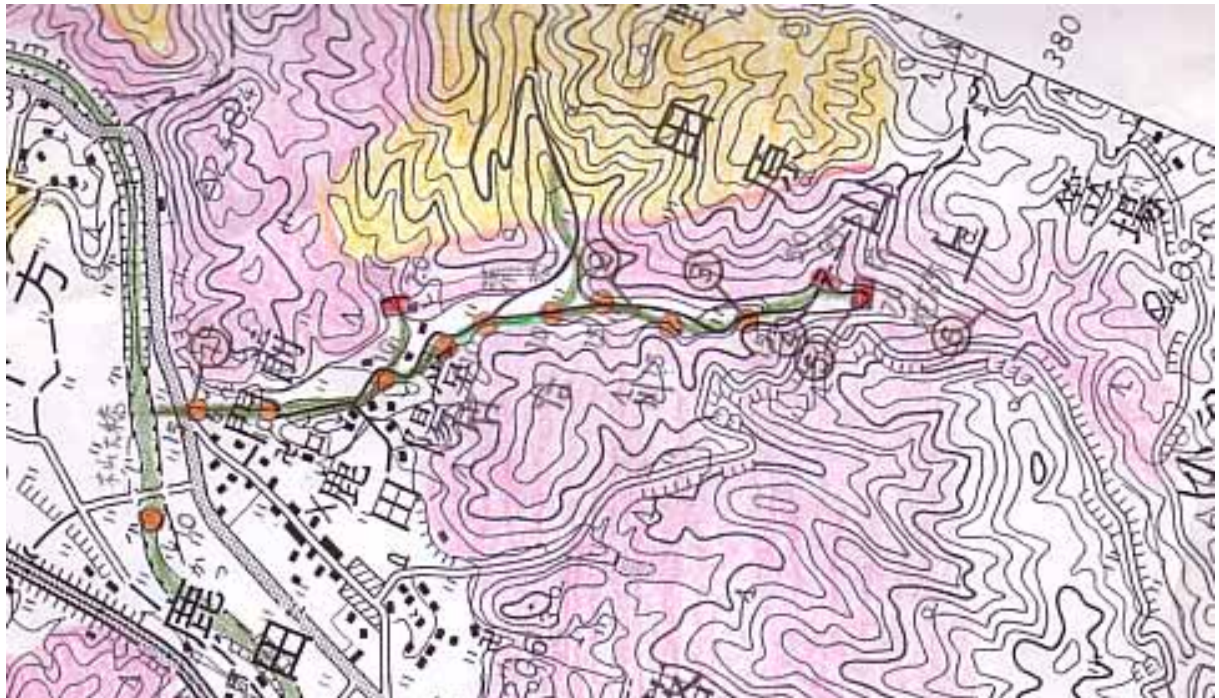


日野上川	河道状況 (%) (延長 4,500m)				障害物 (ヶ所)		地質	流域の植生・災害他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	13 600m	76 3,400m	11 500m	0	1	0	片岩類	植林 50%、混交林 50% 植林に風倒木多
	水質・川の浄化能力等		水中生物		コメント		魚の生息環境	山椒魚の生息
	やや濁った水であるが水草が生え、水は浄化され易い		ダムから上流は渓谷露岩で魚は棲みにくい。下流はハヤが生息		ダムから上流に魚は見られない。下流は水草が茂りハヤ生息		(B) ~ C	×

- ・ 日野上から下流、備中川までは頭首工が多いため、魚は遡上可能であるが山椒魚は不可能である。
- ・ 同上区間は両面護岸であるがヨシなどの水草が生育し、ハヤは生息するが水質はやや劣る。
- ・ 日野上(柳)から上流域はほぼ自然河川である。河床に片岩類の露岩が多い。小谷であり魚の生息は困難となる。
- ・ 魚は日野上(柳)から下流域でハヤを中心とする。生息環境は中の下程度か。田植え時期で水は濁っている。

7. 竹谷川

落合町鹿田で備中川へ注ぐ、延長2 kmの川である。

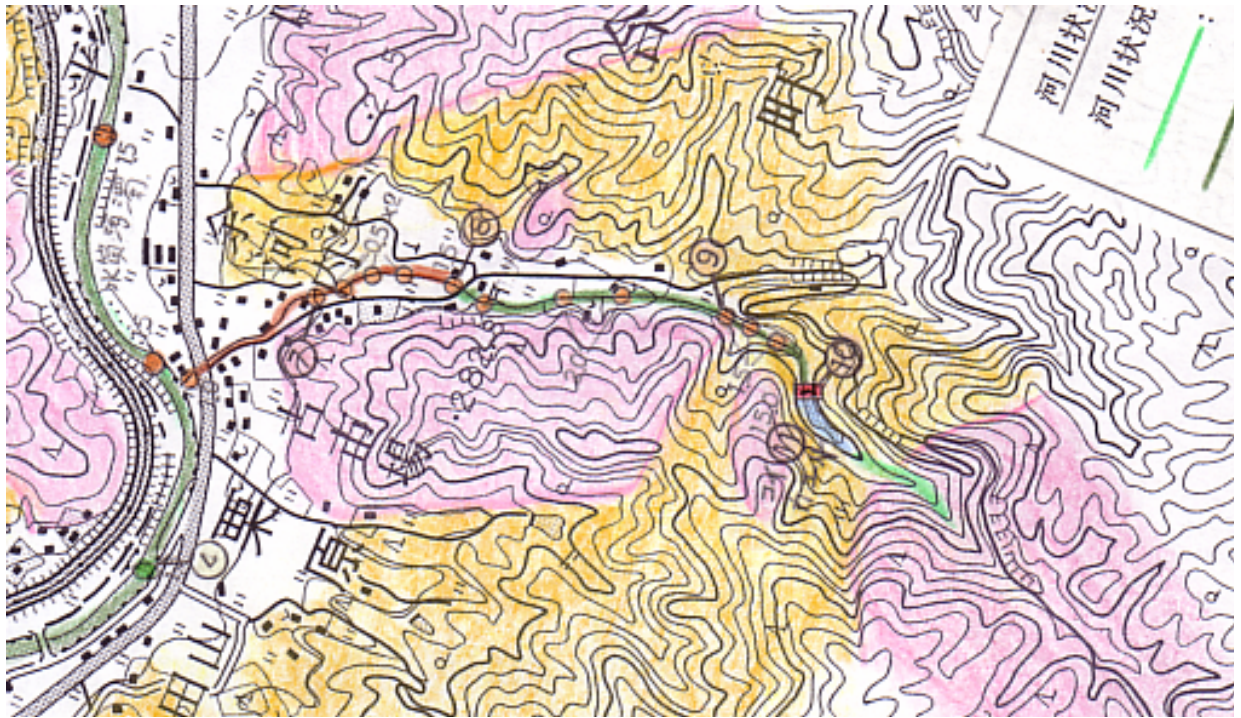


竹	河道状況 (%)				障害物 (ヶ所)		地質	流域の植生・災害他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
谷	0	100 2,000m	0	0	3	0	片岩類	植林地、風倒木あり 土砂流出多
	水質・川の浄化能力等		水中生物		コメント		魚の生息環境	山椒魚の生息
川	上流は土砂流出多くダムは満砂、下流は水草茂り清水、水は少ない		頭首工の上下はハヤ生息、ダムより上流は生息不可		土砂の流出多く水は少ない。ダムより下流にハヤ生息		C	×

- ・ h = 1 ~ 1.5 mの頭首工が多いが、清流で下・中流域にハヤが多く生息する。
- ・ 中流部に2基(5 m、7 m)の砂防ダムがあり堆砂で満砂となり流水なし。ここで水系は断たれる。
- ・ 上流部は小谷であり、植林地のため流入土砂が多く、魚の生息は少ないであろう。

8. 飯)余河内川

落合町栗原で備中川へ注ぐ、延長2 kmの川である。

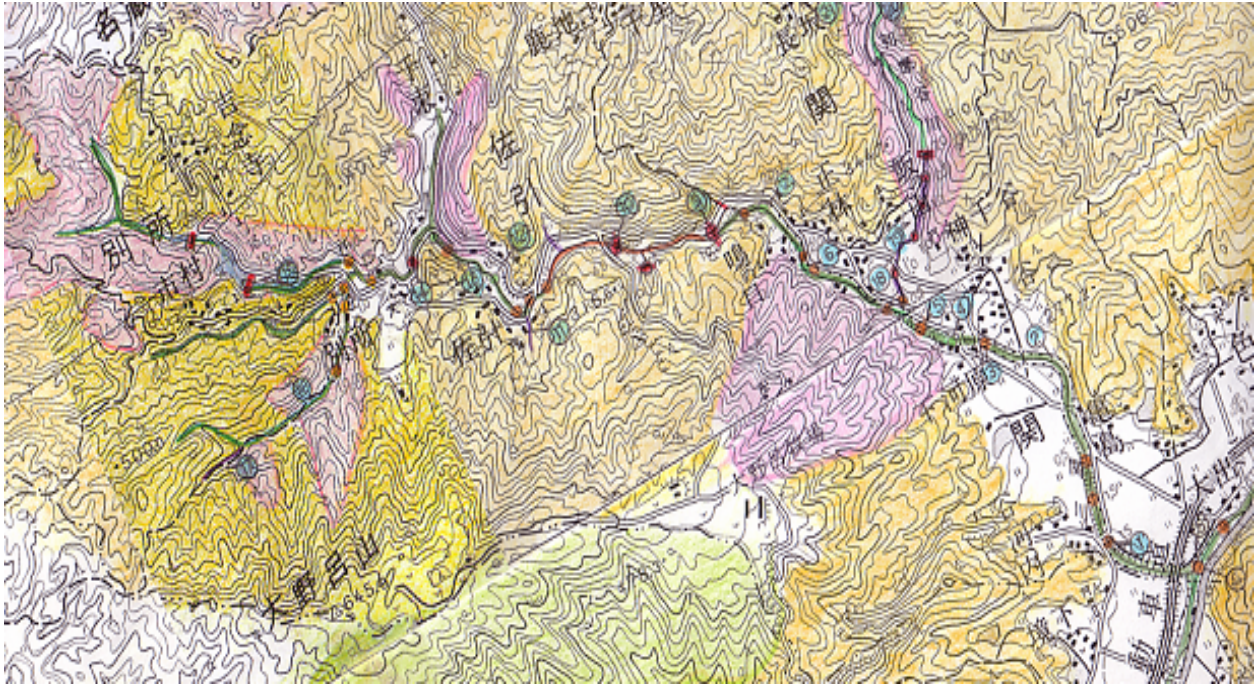


余 河 内 川	河 道 状 況 (%) (延 長 2,000m)				障 害 物 (ケ 所)		地 質	流域の植生・災害他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	10 200m	50 1,000m	40 800m	0	1	0	片岩類	植林 60% 混交林 40%
	水質・川の浄化能力等		水 中 生 物		コ メ ン ト		魚の生 息環境	山椒魚 の生息
	下流は枯れ沢、中流は水草茂るが水少ない。ダムより上流は自然谷		水少なく中流にハヤ少々、ダム湖に鯉・蛙		水が少なくハヤが少々生息するのみ		C ~ D	×

- ・ 備中川への合流点は枯湯川。
- ・ 下流域は玉砂利が分布し、水が少ないため、頭首工の水溜りにハヤが停滞している。水が少なく魚も少なめである。
- ・ 中流部に貯水砂防ダム（h = 15m）があり、池には鯉、食用カエルが生息する。
- ・ ダムの上流は小谷で魚は棲みにくい。
- ・ 川の水量は少なく、乾期には渇水する可能性あり、魚の生息環境は厳しい小川である。

9. 関川

落合町大出で備中川へ注ぐ、延長 6,5 k m の川である。

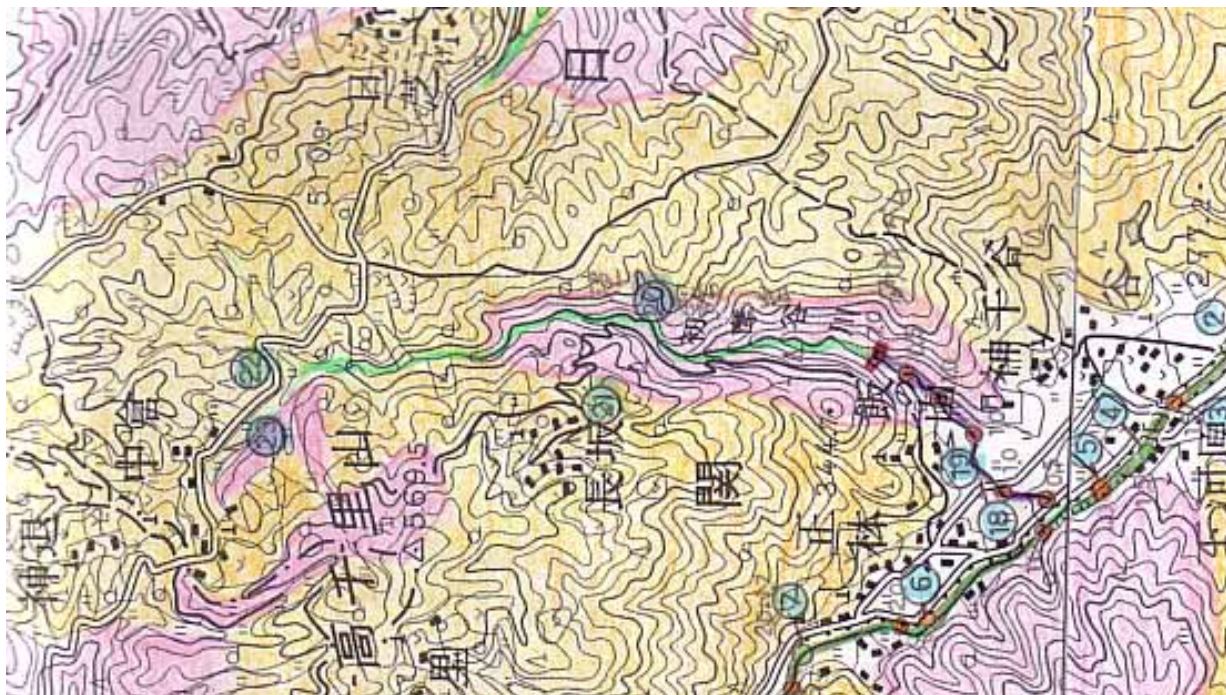


関	河 道 状 況 (%) (延長 6,5 0 0 m)				障 害 物 (ケ 所)		地 質	流域の植生・災害他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	15 1,000m	69 4,500m	15 1,000m	0	5	1	片岩類 花崗岩	混交林広く一部に植 林地。風倒木あり
	水質・川の浄化能力等		水 中 生 物		コ メ ン ト		魚の生 息環境	山椒魚 の生息
川	植林、護岸工、ダムで水 質はやや劣るが下流域 は水草が茂る。		ダムで流域は3分割され る。下流域にハヤ多い、 鯉生息,中流に溪流あり		川は分断され魚の移動は 不可。中・上流に魚は少な く、下流は魚多い		(B) ~ C	×

- ・ 中流部（佐引下流）に2基の砂防ダムがある。
- ・ 全体に頭首工は多いが、中・下流域には鯉・ハヤが生息。
- ・ ドジョウ、ジャコ、ウナギ、ナマズ、ギギ等は見られなくなった。
- ・ 集水域は混交林主体。
- ・ 鳴の口、市村に砂防ダム（全4基）があり、魚は上流、中流、下流に3分割され、流域を通した動きは不可能となっている。
- ・ 水質はやや劣る。ハヤ、鯉を主体とし、ダム・頭首工の上下に生息する。
- ・ 生息環境はC級である。
- ・ 源流はダム・三面張り等があり、魚の生息はやや困難な状態にあり、山椒魚は不可能であろう。

10. 初摩谷川

関川の支川で、延長2kmの川である。



初 摩 谷 川	河 道 状 況 (%) (延 長 2,000 m)				障 害 物 (ケ 所)		地 質	流域の植生・災害他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	65 1,300m	0	0	35 700m	1	4	片岩類 山砂利 層	植林地で風倒木と土 砂流出多。尾根・山頂 は混交林
	水質・川の浄化能力等		水 中 生 物		コ メ ン ト		魚の生 息環境	山椒魚 の生息
	泥水が流出し水草はな く、三面張りで水質は悪 い		魚は生息できず		渓谷は土砂流出多、ダム から下流は全てコンクリ ートで水もなし		D	×

- ・ 下流域は三面張りで魚の生息は不可能。頭部に砂防ダムがあり、魚の遡上は不可能である。
- ・ 中流域は露岩渓谷と滝で魚は不在。両側は植林地で土砂の流出が多い。
- ・ 上流域は小谷で魚はいない。山は混交林であり土砂の流出はやや少ない。
- ・ 本川は魚は棲まず、生息環境としては最悪のD級谷である。